

コロナ感染拡大の生活・営業への影響つづく

生活困窮世帯特別支援金の期間延長

コロナ感染の影響がなかなか収まらない中、社会福祉協議会の特別貸付期間延長に伴い、特別支援金の期限も延長されます。

利用件数は、現在まで 37 件ですが、対象は 102 件あり、延長で数が増える可能性もあります。予算枠は確保されているということなので、対象者の方は、早めに申請しましょう。

国保被保険者のすべてに保険証を！

国保保険証切替え時の 9 月末現在、資格証明書交付数は 93 世帯(前年比 9 世帯増)、短期被保険者証交付数は、192 世帯です。今回の資格証明書交付は、まだコロナ不況の影響がない時期の状況であり、今後、その影響が出てくる可能性があります。資格証明書は、病院での診察時、保険がきかず全額を負担しなければならず、お金がなければ病院にかかれないという「制裁」措置で、命を守る健康保険制度にまったく反しているやり方です。すべての被保険者に「保険証」を交付することが必要です。

保育園廃止、民営化問題はどうか？

市は行革によって、2022 年度にいっぱい東保育園を廃止し、南保育園を 2023 年度から民営化する方針を進めています。しかし、今年度からの第 2 期子ども・子育て事業計画によれば、2023 年度には、今年度と比べて保育などが必要な子どもの数が、237 人減少すると見込まれています。保育園 2 園分の子どもが減るわけです。

現在沼田市内では、公立では、幼稚園 2 園、保育園 6 園、私立では、保育園 3 園、こども園 2 園、幼稚園 2 園、企業内保育園など 2 園があります。少子化の影響で、公立幼稚園の廃止・合併も行われてきました。市の子どもたちと保護者に対し将来、幼児教育・保育をどのように提供していくかを、市全体のなかで考え、計画していく必要があると思います。

良い保育ができるための支援を！

私立4園長と民生福祉常任委員会が懇談

13 日、沼田市議会委員会室において、市内の私立 4 園長会（宮田文子熊の子保育園長）と沼田市議会民生福祉常任委員会との懇談会が開催されました。この会は、園長会からの申し入れにより年 1 回開催されています。

今回は、新型コロナの感染拡大のより、各園とも対策に大変な苦勞をしてきたことや市が行った支援への感謝の声などが報告されました。また、日常に戻りつつある状況で、各園長から行政へのより一層の支援が要請されました。

委員会側からは、各園長から出された要請に対し、問題別に国・県および市への要請などの項目を分け、対応していくことなど説明し、園長会と協力しながら進めていくことを約束しました。



ハイ！一生懸命体を動かして！

佐山最終処分場計画事前協議へ

13 日の民生福祉委員協議会に市環境課から、かねてから佐山町の北部地区のゴルフ場建設撤退地に、廃棄物の最終処分場建設の計画が持ち上がっていましたが、このほど、事前協議書が開発業者から群馬県に提出され、近いうちに公告されるとの報告がありました。

公告されると、開発業者が地元住民に説明会を開催し、市もあらゆる角度から、関係地区の調査に入ります。

*連載している「沼田市政改革大綱について」は、都合によりお休みさせていただきますが、次回には予定しています。

2020 年 10 月 18 日 No.991

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町 983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料